

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 5 日 作成

事務事業名		ふるさと納税事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	企画財政課	担当者名	高島 圭二
	基本事業	88	自主財源の確保	所属班	財政班	(内線)	1233
				法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
	1	2	1	5	11289			コスト削減優先度評価結果	9*3

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】
 ふるさと納税制度の趣旨に基づき、市外に居住する本市出身の方や、関係のある方に対して寄附を募り、合志市を外から応援していただくためのPR活動及び、寄附金の取扱いを行う事務
【業務の流れ】
 ①寄附される方から寄付申し出を受ける(郵便、FAX、電子メールなど)→②市役所から寄付方法の案内(納付書など必要書類を同封)→③寄附される方から寄付金の払い込み(納付書払い、口座振り替えなど)→④市役所から寄附受領書の送付
【主な予算費目】 役務費: 切手代、報償費: 寄附者へのお礼

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 事務事業の概要と同じ	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 特になし
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア「ふるさと納税」に関するPR回数 回 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・合志市をふるさとと思い、応援、貢献しようと思う人	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア「ふるさと納税」に関する問い合わせをした人数 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・ふるさと納税をしてもらう	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア ふるさと納税額 千円 イ ふるさと納税件数 件
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・自主財源の確保ができています。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 自主財源比率 % ⇒ イ 税込納率(現年度) %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円				86	56	56	56	
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	86	56	56	56	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人			4	3	3	3	
	延べ業務時間	時間			225	100	100	100		
	(B)人件費計	千円	0	0	0	896	398	398	398	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	982	454	454	454	

活動指標	ア 回 イ				5	5	5	5
対象指標	ア 人 イ				25	25	25	25
成果指標	ア 千円 イ 件				565	420	420	420
上位成果指標	ア % イ %				49.6	44.7	20	20
					98.5	94		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 ・平成20年4月30日の地方税法改正により従来の寄付金控除税制が拡充され、個人住民税の一部を生まれ育った故郷の自治体などに納めることを可能とする制度が始まったことから、本市においても自主財源確保のため企画した。
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・制度が始まって間もないことから、今後どう変化するか分からない。地方財政が疲弊している現在、この制度に期待し、活用する自治体の増加は安に予測できる。
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・県から「ふるさと納税」制度に関する取り組み状況の問い合わせがあった。(平成20年5月20日付け事務連絡)

事務事業名	ふるさと納税事務	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税をしてもらうことは、自主財源の確保に直接結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接受益(寄附)を受けるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 以前からふるさとを応援、貢献したい、又はしようと思っていた人々が、税制改正を機に納税しようとするのは自然であり妥当と考える。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 都道府県・市区町村に対する寄附金のうち、5千円を超える部分については、個人住民税所得割の概ね1割を上限として、所得税と合わせて全額が控除されること。加えて、平成20年中に寄附金をした場合は、平成20年の所得税確定申告により税額控除がなされ、個人住民税は平成21年度分が減額されること。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 3万円以上の寄附者に対して、5千円相当の地域特産品をお礼として提供しているが、これができなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 寄附を募る事務事業はこの事務のみ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 初年度がPR等の初期投資で増えるが、後年度については寄附の実績を見ながら判断したい。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 現在は最小の人数で対応するように考えているので削減余地はない。しかし、寄附件数が増えた場合、事務量が增加することも考えられる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)